

街角を曲がると仕立て屋と鍛冶屋があつて、

鯛焼きの鉄板も回っていたりして

いつでもものを作っている人々の姿に出くわし、

それを飽きずに見ることが出来た。

1つの物がどんなふうに作られるか知っていたし理解できたのに

いまじゃ毎日の食べ物だって訳がわからない。

原料もわからなきゃ、どんなふうで作っているかもわからない。



だから見せようと思う。

きれいな包装紙もないし洒落た印もついていないけど、

その中身を見てもらおうと思う。

ひとつの手の動きでひとつの仕事をしている、

そのままを見てもらいたい。



芝生の広場に二日間だけ生まれる職人の町に 来ませんか。

16th クラフトピクニック

2017年10月14日 ⊕ 15日 ⊕ あがたの森公園



crafts fair matsumoto,workshop

since2002



はじめは ひとつの手